

令和 8 年 7 月 28 日

令和 7 年度 特別の教育課程の実施状況等について

千葉県		
学 校 名	管理機関名	設置者の別
習志野市立向山小学校（外 校）	習志野市教育委員会	公立

1. 学校における特別の教育課程の編成の方針等に関する情報

学 校 名	特別の教育課程の編成の方針等の 公表 URL
習志野市立向山小学校	https://www.city.narashino.lg.jp/material/files/group/152/R7_kyoiukukateinohennseihousinn.pdf

※必要に応じて行を追加すること。

2. 学校における自己評価・学校関係者評価の結果公表に関する情報

学 校 名	自己評価結果の公表 URL	学校関係者評価結果の公表 URL
習志野市立 向山小学校	https://www.city.narashino.lg.jp/school/mukouyama/gakko_shokai/hyouka.html	

※必要に応じて行を追加すること。

3. 特別の教育課程の実施状況に関する把握・検証結果

(1) 特別の教育課程編成・実施計画に基づく教育の実施状況

☒ 計画通り実施できている

☐ 一部、計画通り実施できていない

☐ ほとんど計画通り実施できていない

(2) 実施状況に関する特記事項

※(1)で「一部、計画通り実施できていない」又は「ほとんど計画通り実施できていない」を選択した場合は、必ず記載する。

(3) 保護者及び地域住民その他の関係者に対する情報提供の状況

☒ 実施している

☐ 実施していない

<特記事項>

3. 実施の効果及び課題

(1) 特別の教育課程の編成・実施により達成を目指している目標との関係

当校では学級担任が T1 となり、コミュニケーション力を伸ばすことを大切にした外国語学習に取り組んでいる。児童は学習を通して、英語を用いて相手に伝えたいという思いや、相手のことを知りたいという思いをもち、英語でやりとりしながら人と関わる楽しさを味わっている。さらに、アイコンタクトをとりながら笑顔でやりとりをする中で、相手を気遣い、思いやる習慣を身に付けるなど、外国語学習で身に付けた力が、他の活動においても他者理解や人間関係作りの力として役立っている。

一方、英語の学習は好きなものの、学んだ英語を使って、自身の考えを表現する場になかなか自信をもてない児童が一定数いることが課題である。

(2) 学校教育法等に示す学校教育の目標との関係

学校教育法に示す目標について、例年行っている国際交流会に加え、ブレンディッド授業を複数回行うなど、様々な国の人と英語でコミュニケーションをとる活動を多く取り入れることで、グローバルな視点をもつことや異文化理解、コミュニケーション能力の育成に努めた。

4. 課題の改善のための取組の方向性

1年生からの一貫したカリキュラムによる英語教育の実践を通して、分かり合おうとする姿勢や呼応する力の育成、英語でのコミュニケーションに自信をもち、恐れずに自分を表現できる児童の育成に努める。多様な児童の参加を促すために、歌やジェスチャー、リアクション、視覚的なイラスト等、多様なコミュニケーションツールを用いて、英語に親しむ場面をより一層充実させることに努める。